

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	処理方式	資料P
EDI	1	ebMS処理方式の廃止 netNACCS処理方式の接続仕様公開	ebMS処理方式を廃止する。 netNACCSのインターフェースの仕様を公開(API公開)する。	e	21~22
	2	EDIFACTのバージョンアップ対応	第7次NACCSでは、現行バージョンに対応した機材のサポート期間終了に伴い、自社システム(EDIFACT)利用者への影響を考慮し、2021年前期バージョン(D21A)を採用する。航空のEDIFACT対象業務については、バージョンアップは行わない方針とする。	M	22~24
共通	1	GW配下用パッケージソフトの廃止	GW配下用パッケージソフト(メール処理方式)を提供終了する。それに伴いメール型宛先管理機能を強化する。	M M	25
	2	非同期電文の対象見直し	開庁時申告時や共同利用端末からの申告時についても、通常申告通りEXZ型電文として申告端末に出力するように変更する。申込業務に対する回答通知をEXZ型電文として申込端末に出力する。	n I Y M	26~27
	3	添付業務の改善	添付業務における添付ファイル容量の制限値等を改善する。	n I W Y M	27~28

処理方式 凡例  パッケージソフト netNACCS  パッケージソフト インタラクティブ  パッケージソフト メール(GW配下) **W** WebNACCS処理方式 **e** インタラクティブ処理方式 ebMS(GW接続) **Y** インタラクティブ処理方式 SMTP双方向(GW接続) **M** メール処理方式 SMTP/POP3(GW接続)

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	処理方式	資料P
共通	4	第7次NACCSにおける認証方法	第7次NACCSにおけるインターネット経由の接続における認証方法は、多要素認証方式を引き続き採用することとし、多要素認証方法においては、引き続き『デジタル証明書』による認証を行う。	n w	29~30
	5	第7次NACCSにおける対応OS・ブラウザについて	第7次NACCSでは、第6次NACCSと同様にお客様端末を安全な状態に保つため、最新のOS・ブラウザ環境にてサービスを開始・利用できるようにする。 PC : Windows 11Pro (64bit) 日本語版、英語版 (Microsoft Edge、Google Chrome) スマートフォン : iOS (Safari)、Android (Google Chrome) タブレット : iPadOS (Safari)	n i w	30

処理方式 凡例	n パッケージソフト netNACCS	i パッケージソフト インタラクティブ	M パッケージソフト メール(GW配下)	W WebNACCS処理方式	e インタラクティブ処理方式 ebMS(GW接続)	Y インタラクティブ処理方式 SMTP双方向(GW接続)	M メール処理方式 SMTP/POP3(GW接続)
------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------	-------------------------------------	--	-------------------------------------

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
UI 端末	1	NACCSパッケージソフトのユーザーインターフェース改善	以下の改善を行う。 ・帳票等への日時印字の改善 ・フォントやアイコンのモダン化 ・オートコンプリート対象項目の拡大 ・個人用入力チェック機能の追加 ・入力画面と出力帳票のレイアウト統一 ・グリッド対象の拡大 ・区切り表示項目の仕様変更 ・複数行項目での折り返し可能化	33~38
	2	WebNACCSにおけるユーザーインターフェースの見直し	利便性、操作性等の大幅な向上を目的に、画面遷移、レイアウト、デザイン等について改善を行う。	38~39
	3	WebNACCS対象業務の拡大	新たに以下6業務をWebNACCS対象業務に追加する。 包括保険確認登録(HKA)業務、包括保険確認登録呼出し(HKB)業務、 為替レート照会(IER)業務、担保照会(IAS)業務、担保一覧照会(IAS01)業務、 混載貨物状況照会(IIC)業務	39
	4	携帯端末への対応	「輸出入通関・貨物関連業務」の対象業務について、従来のパソコン向けのページレイアウトに加え、スマートフォン・タブレット向けのページレイアウトを提供する。	40

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
通関	1	納付書等出力先の改善	航空申告分の納付書情報の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。	43
	2	共通管理番号の番号紐づけ数拡大	共通管理番号に紐づけ可能な他法令届出・申請件数を最大297件に拡大する。	44~45
	3	共通管理番号の自動補完	共通管理番号へリンクを選択した場合で共通管理番号の入力が無い場合は、先行の他法令業務で払い出された共通管理番号を自動補完し、リンクする。	45
	4	輸出入申告等一覧照会業務における全官署照会の可能化	輸出入申告等一覧照会業務において、以下の変更を行う。 「税関官署コード」欄に「AL」が入力された場合は、あて先官署単位に全官署のデータを出力する。 「通関士コード」欄、「輸出入者コード」欄を項目追加し、入力したコードで絞り込んだ照会を可能とする。 出力画面(照会結果が出力された画面)から申告官署等を繰り返し入力し展開可能にする。	46
	5	「当初輸入申告情報呼出し(修正申告)(DLI02)」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大	DLI02業務に「当初申告利用者コード」および「当初B/L番号/AWB番号」を項目追加し、DLI02業務実施者と当初申告者が異なる場合は、追加項目を必須とし呼出し処理を可能とする。	46
	6	管理資料の追加(見本持出申請の一覧)	管理資料として新たに「見本持出許可申請一覧データ」を追加し、前月中の見本持出許可および見本持出許可取消に関するデータを収集し、一覧形式で提供する。	50

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
通関	7	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	関税等の納期限延長制度(個別納期限延長、包括納期限延長、特例納期限延長)を利用した申告について、リアルタイム口座振替による納付を可能とする。	51~54
	8	修正申告の審査業務 「修正申告の審査業務 効率化」については実施見送りとなりました。	修正申告の審査業務の効率化に関する見送りの措置を設ける。	55
	9	特例申告業務の改善	特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示し、特例申告時に提出すべき添付書類の有無を確認可能とする。 特例申告の期限内訂正について、既存業務を利用して可能とする。 一括特例申告事項登録(TKA01)業務について、輸入(引取)申告番号をシステムで補完する。	56~57
	10	税関手続における新規業務の追加	汎用申請またはマニュアル手続で行っている下記業務に対応する機能を新設する。 ・包括評価申告の個別業務化 ・知的財産関係手続に係る各種通知の電子化 ・石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化 ・減免戻し税等明細書提出のシステム化	58~63

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
通関	11	急増する輸入貨物への対応（国内運送先、通販貨物識別等の項目追加）	改正された関税法施行令第59条に対応するため、輸入申告項目に「国内運送先」や「通販貨物に該当するか否か」等を追加する。	63~68
	12	海上小口貨物における簡易通関の導入に係る業務の新設	電子商取引の拡大やコロナ禍を背景に、通販貨物を海上貨物として輸入することが増加しており、小口で迅速な通関が求められる貨物の性質等を踏まえ、簡易な輸入通関の制度を設ける。また、簡易・迅速に通関手続を行うため、販売者(荷送人)、荷受人、貨物等に関する事項を申告前に提供する業務を新設する。	69~71
	13	自動車通関証明書のシステム化	自動車通関証明書を電子化し、国土交通省が所管するMOTASに連携する。	72~74

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
貨物 (共通)	1	貨物状況通知サービスの提供	通知を必要とする貨物とその通知契機を事前に登録すると、保税地域への搬入や輸出入許可などの貨物情報の更新時に、リアルタイムに登録者端末宛てに通知する業務を新設する。	75~77
貨物 (航空)	1	「搬出確認登録(一般)(OUT)」業務の改善	OLT貨物に関するOUT入力をAWB単位ではなく、保税運送申告番号から対象のAWB番号を呼び出すことが可能となるよう呼出業務を新設する。	81
	2	航空貨物におけるラウンド運送機能の追加	保税運送申告(一般)(OLT01)業務に新規運送種別「Q(検疫等の経由運送)」を追加し、当該種別を使用した場合に、再搬入を可能とする。マニュアルでの保税運送申告について、ラウンド運送に限らず、搬出後に貨物情報を削除することなく、搬入確認登録(システム対象内保税運送)(BIN01)業務での搬入を可能とする。	82~83
	3	航空貨物における仮陸揚関連業務の改善	航空貨物の仮陸揚貨物および混載仮陸揚貨物の仕分け・仕上げを可能とする。 航空貨物の仮陸揚貨物および混載仮陸揚貨物についてOLT01業務による保税運送申告を可能とする。	83~84

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
貨物 (海上)	1	B/L番号枝番運用の改善	予備申告を枝番付きの貨物で行う場合、その後の貨物情報仕分け(CHJ)業務または貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)業務の枝番払出し処理において、該当枝番が存在した場合は、新たに枝番を払い出さずに、該当枝番の貨物を更新する。	85
	2	「輸入貨物荷渡情報登録(DOR)」業務の通知先の追加	DOR業務において、通知先の入力有無にかかわらず、船卸前は貨物管理番号に登録されたコンテナオペレーション会社、船卸後は貨物の蔵置場所を管理する利用者に帳票を出力する仕様とする。	86
	3	内航船による外貿コンテナフィーダー手続	内航船単位に複数コンテナの積込(搬出)登録および陸揚(搬入)登録が可能な業務を新設する。	89~90
	4	バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大	1コンテナに対して登録可能な輸出管理番号を最大6,000件とする。バンニング情報追加(VAA)業務にて1送信で登録できる輸出管理番号数を100件まで拡大する。 本変更の対象帳票の輸出管理番号の繰り返し数を最大1,500件に変更する。	91~92

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
貨物 (海上)	5	ACL業務の改善	以下の改善を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ACLカスタマイズツール、ラベルの見切れ改善 ・「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」の入力を一部項目において可能とする。 ・荷主連絡先メールアドレス欄を3欄とする。 ・コンテナ番号入力欄に内個数・OVER HEIGHT・OVER WIDTH・OVER LENGTHの入力欄を設ける。 ・シール欄を6欄に増やす。 ・品名欄、記号番号欄等の電文分割について、メール処理方式におけるEXC型電文の分割要否を選択可能とする。 	94~95

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
輸入食品 動物検疫 植物検疫	-	通関系関連省庁添付登録業務(MSF)の改善	通関系関連省庁添付登録(通関系関連省庁添付登録(検疫所(食品))(MSF01)、通関系関連省庁添付登録(動物検疫所、植物防疫所)(MSF02))業務に対応した訂正業務及び照会業務を新設する。	99
輸入食品	-	輸入食品業務に係る紙申請業務の汎用申請化	輸入食品業務に関連する検疫所への汎用申請業務を新設する。 ※対象とする手続は厚生労働省(検疫所)にて検討し周知する	102~104
動物検疫 植物検疫	-	動物検疫業務、植物検疫業務の管理資料の追加	NACCSを利用して行われた動物検疫・植物検疫関連業務について、通関業務取扱明細簿の記載項目に即した件数等の把握が可能となる新規管理資料(動物・植物申請一覧データ)を提供し、動物検疫・植物検疫関連業務の件数等の把握を可能とする。	107~108
動物検疫	-	動物検疫所から申請者への連絡機能の追加	動物検疫所の業務に申請者への連絡機能を追加し、NACCS電文又はメールにて通知内容を確認可能とする。	109
植物検疫	-	電子植物検疫証明書(ePhyto)の開発	植物検疫関連業務で電子植物検疫証明書(ePhyto)を用いた業務を実施可能とする。	111~112
外為法	-	外為法関連業務のWeb化	外為法関連業務の申請業務をWebNACCSより実施できるようにする。	116

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
海上 入出港	1	WebNACCS(海上入出港業務)の改善	利便性、操作性等の大幅な向上を目的として抜本的な変更を行う。	117~119
	2	「書類状態確認(WVS)」業務の改善	利用者が入出港関連の帳票を確認・取得する業務が二つのパターンに分かれているため、統一化する。 (入出港関連の帳票は書類状態確認(WVS)業務で確認・取得するよう一本化する。)	120
利用申込	-	利用申込手続の改善	2段階申込(システム設定申込)の設定内容をNACCSの利用者設定業務(U業務)から設定できるようにする。	125~126